



第2回JLF学生コンペティション2006

主旨 / 今、日本人に必要なことは個人という立場に立ち戻り、再出発することではないか？この危機感のもとに実施した第1回JLF学生コンペティション2005に引き続き、今回もミニマルをテーマとします。現代日本の文化を象徴するキーワードとして「携帯・ケータイ」は欠かせません。現代人にとって、情報を携帯することは普通のこととなりました。さてそれでは、空間を携帯することは可能でしょうか。学生の皆さんの積極的な提案を募ります。

ジャパンランドスケープフォーラム

テーマ ミニマル・ランドスケープ 携帯庭園 200X6

都市生活者が個に立ち戻ることのできる最小限規模の庭園を、模型あるいは実物で提案してください。
・計画地と敷地規模 / 自由に設定

応募登録 / 8月5日(土)までに下記の応募票をファクシミリ又は郵送にて提出

・応募資格 / 学生・専門学校生(会員・非会員を問わない)

応募作品 / **模型** 提出時姿 / **1辺14.14cmの立方体**

- ・この立方体の中に何を納めるかは自由です。
- ・作品の主旨説明と展示の姿図(A4タテ使い)を添えて提出してください。
- ・展示はA1サイズ以内の平面スペースとします。
- ・模型作品そのものが実寸の庭園である場合は、そのことを明記してください。

締切り / 2006年9月2日(土)5:00PM必着 *郵送、持ち込み いずれも可

提出先 / 高崎設計室(有)内 JLF学生コンペ事務局

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷3-37-16

電話 03-3374-2849 FACSIM. 03-3374-2843

審査員 / 阿部勉(ソトブ)・猪狩経明(景アトリエ)・大橋鎬志(M&N環境計画研究所)・佐々木葉二(鳳コソカタ)・高崎康隆(高崎設計室)・地福由紀(アトリエ福)・戸田芳樹(戸田芳樹風景計画)・内藤英四郎(内藤ランドスケープ計画事務所)・永松賢一(永松賢一・遊建築研究所)・美濃又哲男(IL・IS研究所)・宮本五月夫(景デザイン研究所)・室田秀男(柯トハス)・山本忠順(L.A.U.都市施設研究所)

発表 / 2006年10月7日(土) JLF総会及びJLFホームページ

雑誌掲載 / 「隔月刊ランドスケープデザイン」2006/12発売予定

展示会 / 日時詳細未定(応募状況により決定)

賞 / グランプリ・準グランプリ・審査員特別賞など数点

備考 / 質疑応答は行わない

この募集要項に記載された表現の解釈や記載されていないことについては、応募者各自の判断に委ねる

応募作品引き取り / 別途通知

第2回JLF学生コンペティション 2006 応募票

2006年 月 日

応募者名(チーム名も可)	学校名 /
メンバー(代表者には 印)	
代表者連絡先	〒
住所	
電話番号	
E-MAIL	